

# TTC ゆった〜り山行実施記録表

2023年2月08日 YM

山行名	西伊豆土肥桜ウォーキング(土肥温泉・恋人岬・黄金崎)		[静岡県]	
実施日	令和5年2月03日(金) 日帰 マイクロバス利用、参加者:15名			
天候/参加人員	天候:曇り/晴れ/気温: max12℃、 レベル: ☆			
パーティスタッフ	省略			
参加メンバ	省略			
費用(交通費) 一人:4,650円 (カンパ金500円)	約4,650円 マイクロバスレンタル料金¥30,360、スタットレス仕様車加算+¥3,300、ドライバ謝礼¥20,000、燃料代(軽油) @145x350/5⇒¥10,150、有料道路(中型:厚木-長泉沼津@2320+伊豆中央道@200+修善寺道@200)x2⇒ ¥5,440/交通費合計¥69,250/15人参加:一人当たり集金額¥4,650/残金¥500(カンパ金会計繰入)			
歩行/行動時間	歩行+見学+昼食+休憩時間	行動時間(現地桜名所間のバス移動時間を含む)	歩行数: ~13,500歩	
計画	5:40	6:50		
実行	4:20	5:00		
実行コースタイム記録				
(始発)	pick-up 場所 (中町4丁目BST)	東名道	新東名	伊豆縦貫道/伊豆中央道/修善寺道
6:10	鷹尾=(荻野新宿・及川中原・林)=旧ヨカ前==厚木IC==足柄SA==長泉沼津IC==道の駅伊豆ゲートウェイ函南==			
	(マイクロバス駐車) 20 25	(昼食)	(土肥桜原木)	(土肥桜並木) 15
8:54	月ヶ瀬IC=土肥神社==松原公園P...万福寺...松原公園P==土肥金山==丸山スポット公園==恋人岬P...恋人岬展望台			
9:21/9:33	9:40 10:00/10:15 10:40/10:45 10:50/11:36 11:45/12:09 12:16/12:35 12:50/13:05			
15	(富士山の丘展望台往復)(トイレ/買い物)	新東名	東名	
13:20/13:27	13:38/14:19 15:09/15:29 16:10 16:28/16:48 17:26 16:45 ~17:10			
				..恋人岬P==黄金崎==道の駅月ヶ瀬==長泉沼津IC==足柄SA==厚木IC==本厚木駅前=(各地)==鷹尾(終点)
コースの概要、特記事項、反省事項等				
<p>土肥桜は、早咲き桜として有名な河津桜が河津川の河原で発見された3年後の1958年に土肥山中で発見されたオシダザクラとヒナザクラの自然交配種(河津桜もほぼ同じ)で、この60年間土肥地区内で地道に接木で増やし続け、2004年に土肥桜として品種登録。400本まで増やした2016年から土肥桜祭りが開催されるようになった早咲き桜のニューフェイス。河津桜より、約2週間早い1月中旬~2月上旬に見頃を迎える日本一早咲きの日本生まれのサクラだが、伊豆市土肥地区でしか見られないような桜(土肥桜とほぼ同時期に咲く熱海桜は、明治初期に伊豆商人が、インドから我国に苗を持ち込んだ外来種)。日本一早咲きの桜花を愛でようと、3年前から計画したが、コロナ禍で2年連続中止になり、今回が3度目の挑戦で、ようやく実現。</p> <p>2/3(金)早朝、15名のメンバがマイクロバスに乗り、約3時間を要して、目的地の西伊豆土肥温泉に到着した。最初に訪問した土肥神社の境内には、4本の土肥桜が真紅の花を満開に咲かせており、初対面の桜に「美しい!」と歓声を挙げながらカメラのシャッターを向けて写真に収めていた。歴史ある格式高い延喜式内神社の境内では、本日午後からの節分祭典の準備に多くの氏子が集まって忙しく作業中であったが、境内に咲く土肥桜や神社の謂れについて丁寧に説明していただいた。</p> <p>松原公園内の市営駐車場に車を止め、海辺に続く遊歩道から、数10本の土肥桜が咲く海岸道路を北上し、万福寺境内に満開の花を咲かせる土肥桜の古木を愛で、温泉街を散策しながら、約1時間のウォーキングを楽しんだ。「花より団子」とばかり、古民家的高级パン屋で焼き立てのパンを、八百屋の店先に並ぶ地元産かんきつ類を、農産物直売所で、地元野菜や春ミカを買って帰るメンバが多かった。公園内には、数10本の満開の濃紅色土肥桜に交じって、遅れて品種登録されたまだ3~8分咲きの淡紅色土肥桜の2種が見られた。同じ土肥桜原木の挿し木苗から、濃紅色と淡紅色の2種の土肥桜が誕生したという。花の形状を観察してみると、濃紅系は、花柄が長く花びらがやや小ぶりで、うつむき加減に満開の花を咲かせていた。淡紅系は、花柄が短く、花の色と形状が河津桜に似ており、満開時期も濃紅系より少し遅いようだ。</p> <p>車で土肥金山に移動して、濃淡2色の土肥桜が咲く、広場で昼食を摂ることにしたが、借用した屋外のベンチは、相当寒く、半数以上のメンバがバス車内で昼食を摂る羽目になった。次に、丸山公園に移植された土肥桜の原木を訪ねた。樹齢100年超になるのだろうか。幹回り、樹高、枝ぶり、花付きとも、威風堂々たる大木であった。</p> <p>次に訪ねた恋人岬。入り口付近の白びわ果樹園の管理道の土肥桜並木には、写真撮影中の金襴緞子の花嫁と紋付き袴の男性におめでとう!のコールを送った。この後、片道約15分のアップダウンのある坂と階段を辿って、海に突き出た恋人岬展望台へ。少し霞んではいたが、ぽっかり浮かんだ富士山や駿河湾の大海原の彼方に御前崎まで続く対岸の大展望を楽しんだ。</p>				

最後に午後の太陽を浴びて黄金に輝く黄金崎の断崖の小径を富士見の丘展望台まで辿り陽なたで一休みして帰路に就いた